

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名 障害児保育園ヘレン荻窪

		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		<input type="radio"/>	<p>部屋が狭いので、そら組が2部屋に別れなければならない時があり、クラスの効果が十分に発揮できないことがある。部屋の配置が変えられればと思う。</p> <p>コロナ感染防止を加味しなくとも現状の保育三室では15人定員には不足している。児童の生活、活動の場だけでも充実でない上に、スタッフの業務や休憩の場と教材備品置き場が全く足りない。児童の居室に教材や座位保持椅子を置くしかなく危険。</p> <p>座位保持椅子の置き場など工夫しているが、全員登園するとスペースが厳しい</p> <p>部屋数が少ない。保育室と子どもトイレが狭い。</p> <p>物の配置や整理整頓を工夫している。</p> <p>保育室が狭いので、保育活動が限られる。例えば、パラバルーンが広げられない。</p> <p>人数に対してやや狭いように感じる</p>	<p>クラス体制の検討や保育活動の内容を工夫し、限られたスペースを十分に活かせるような運営を行っていきます。</p> <p>部屋に必要な物品以外は置かず、収納場所を整理して園児にとって安全な環境作りを徹底していきます。</p> <p>また、引き続きソーシャルディスタンスを心がけつつ、手洗い、手指消毒、換気、設備の消毒を実施し、できる限りの感染対策に努めます。</p>
	2. 職員の配置数は適切であるか		<input type="radio"/>	<p>活動内容、子供の人数に合わせ、部屋を分け、職員と子供を配置している</p> <p>保育のパートを朝から夕方フルで配置してほしい。配置することにより、残業が減る。</p> <p>児童の状況に応じた配置数が共有され園全体でシステム化されれば過不足が公平に見えてくる。平等に個人の業務時間が与えられ毎日クラスミーティングができるとよい。</p> <p>一人休むと回らない。休めないプレッシャーが辛い。</p>	<p>1日毎にスタッフ体制を見直し、必要な人員については園内で調整、難しい場合は他園のヘルプ体制を検討していきます。入園児数の増加に伴うパートの採用も検討していきます。</p>
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>	<p>3階に園がある時点でもしもの災害の時エレベーターが使えなかったら階段等リスクがある。</p> <p>障害の特性によってクラス分けされ、部屋も分けられている</p> <p>スペースが手狭なため難しいが、車椅子でも移動できる動線が廊下などの共有部分にあるのが理想</p> <p>ビルのエレベーター狭い。子どもトイレ内。災害時の避難経路も危険が多い。と</p> <p>ほぼできている。登園時にスタッフの出動が重なり児童の気が散る。関わり方で活動ができるよう、担当が考え共有を始めている。</p>	<p>緊急災害時の避難については、施設ビルの特性を理解し、日々の訓練を定期的実施していきます。</p> <p>園内の設備については、園児の特性を考慮した活動や、安全な導線を確保出来るようにスタッフ間での検討を行っていきます。</p>
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		<input type="radio"/>	<p>重心児の保育室が児童の人数に対して狭い。入るスタッフの人数が多い、座位保持椅子や個人物品などが床に置かれているため、狭く危険。担任はできる範囲で考えて安全に過ごすよう努力しているが限界。</p> <p>環境整備について漏れずにされるよう、マニュアルが作成され、可視化されている。</p> <p>毎日スタッフが消毒を行い清潔に保っている。</p> <p>活動が制限されるため、制限のない空間が必要。</p> <p>室内装飾で季節を感じられたり、楽しみにする気持ちを養えるように工夫している</p>	<p>登園状況を見て活動内容を工夫し、園児にとって安全かつ様々な活動を提供出来るように検討していきます。</p>
業務改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>	<p>改善のための事故報告が振り返りにいかされていないと感じる。現在多岐に渡り過ぎている事故報告にあげるべき内容を精査すべき。</p> <p>日々のミーティングで課題や振り返りの中で、改善するべき点を話し合い、より良い保育に繋げている。</p> <p>ミーティングがルーティン化されている</p> <p>園全体ではできていない。個人的な主張がたくさん出るのでPDCAに繋げるようにすることと、誰もが声を挙げられる工夫が必須。</p> <p>十分なMTGの時間がとれない。取れるように職種を超えての協力もない。</p>	<p>全体に共有された事故やヒヤリを分析、検討する時間を作ることで改善に繋げていきます。また、事故報告書の記載の有無をルーティン化し、スタッフの業務を効率化していきます。</p> <p>また、園全体、職種別のミーティングの時間を作り、全スタッフの意見が出せる構造を検討していきます。</p>
	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	<p>行事に対しアンケートなどを実施し改善策を検討している</p> <p>様々なご意見に園長は柔軟適切に対応に努めている。</p>	
	7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		<input type="radio"/>		
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	<p>わからない</p> <p>事業所として行われているのかスタッフには見えてこない</p>	<p>第三者による外部評価は行っておりません。保護者および職員向けの評価表をもとに事業所ごとに業務改善を行っております。</p>
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>	<p>園から指示される研修以外は個人の意識にもよるので難しい</p> <p>人員不足のため退勤後に行けるセミナーに絞ったりしているため疲労がたまる。</p>	<p>スタッフの職種別のスキルアップや意識の向上の為、管理者が外部研修情報を把握していきます。</p> <p>スタッフの経験年数や期待を含め、スタッフのニーズや状況に合った研修受講を促していきます。</p>
	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		<input type="radio"/>	<p>日々ファイルに子どもの記録をし、支援計画をクラスで一人ひとり考え、児のニーズに合わせて作成している。</p> <p>保育未経験、未就学児の支援未経験のスタッフが多く、こどもの発達に応じた支援ができているとはいえない。</p> <p>スタッフのスキル向上が急務。</p>	<p>保育、療育の視点から園内外の研修や勉強会を実施することで、スタッフのスキルアップに努めていきます。</p>
	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>	<p>アセスメントツールを使用できるようスタッフのスキルが必要</p> <p>標準化されたアセスメントツールは使用していないので、改善すべき点である。</p>	<p>アセスメントツールの標準化を進めている段階です。今後の検討を進めていきます。</p>
12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定文字数		<input type="radio"/>	<p>10と同様の理由で適切にできているとはいえない。</p> <p>今後の見直しをもち、保護者と話し合う機会を設けている。</p>		
			<p>日々の活動について振り返って改善点などを話し合いたい</p>		

適切な支援の提供

13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>	支援計画を把握し、それに沿って日々の日案を計画し、保育のねらいにしている。 しようとしているが、10と同様の理由で未就学児の発達を知らない、勉強しないスタッフがが多く、計画をどういふに具体的に遊びや生活の中で支援に繋げていくかの部分に課題が多いように感じる。	児童発達支援センター、保育スタッフへ個別支援計画について相談し日々の保育活動に取り入れていきます。
14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>	毎週チームミーティングを設け話し合いをして行っている 話し合った上で、案を考えている。 チームで話し合う時間に制限があるため、立案方法などを改善したい。 クラスで行っている。相談して立案するようになった。	クラス別ミーティング内容の質を向上させて、チームとして活動の立案を実施していきます。
15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>	児のニーズに合わせて、立案している。 子供たちが継続して続けることで見られる変化に気づき、変化に合わせた展開をひろげていく。 季節の行事、スタッフそれぞれの得意を生かした幅広い活動に取り組んでいる。	
16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>	児の状況に合わせている。 もう少し明確に記載できるフォーマットが必要	スタッフが週案、日案作成時に、児童発達支援管理責任者と相談して実施していきます。
17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>	ミーティングができないときには書面で共有するよう、事前に日案や活動計画が出されるようになってきた。まだ全てではないがこの流れが進むと良い。 保育とナースで保育活動について打ち合わせしたり意見交換したりすることができると良い。 児が登園しているため、話し合う時間が必ずとれるわけではない。そのため、日案を掲示し、その日の児の担当、ねらい、手立てをスタッフが確認できるようにしている。 ペーパーベースで確認はしている。 短時間ではあるが保育スタッフの役割分担を確認しあっている 打ち合わせはやっているが、経験が少ないせいにか子どもの行動の予測ができていなかったりイレギュラーに対応できないスタッフが多くヒヤリが多い。 十分な時間がとれない。	日案や活動計画を簡素化し、支援に入るスタッフがすぐに理解できるよう分かりやすい内容を検討していきます。スタッフ間で連携し、短時間での打ち合わせを密に行っていきます。
18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	<input type="radio"/>	活動をもう少し振り返り改善点や良かった点を話し合えるとよい。 時間が必ずとれるわけではない。ミーティングの際、保育活動の振り返りや、共有事項など話し合っている。 時間によるか、振り返りを行えるときとそうでないときがある。 十分な時間が取れない。振り返りの重要性が理解されていない。予定にないMTGを設けると保育をしていないと言われる。 毎回できないのが実態。午睡時間をナースに任せて活動の振り返り時間を確保することができないものか。ナースとの連携を具体的な形にしていきたいが。	クラス別ミーティングでの振り返り、ノート等での書面を通して、園児の成長や課題を共有出来るように努めていきます。
19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>	気づいた点、できたことなど記録している。 日々の記録に未記入がある 十分な記録をとれるだけの時間がない。 保育、看護とものできる範囲で記録している。書くだけで終わらず改善につなげるのは児発管の役割りと自覚している。まだ十分にできていないことを反省している。	間接的業務の役割を明確化し、記録するスタッフとその時間を可視化できるように検討していきます。
20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>	支援計画の見直しは定期的に行っている。	
21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>	わからない サービス担当者会議がどのように行われているか把握していない 園長が参加しているのでしょうか？児発管も参加してみたい。あるいは会議の内容を知りたい。	
22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>		
23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>	進学先との連携を強化することができないか考えたい	園長を中心に移行支援について、クラス担任と連携し、就学後、転園後の継続した支援を検討していきます。
24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	<input type="radio"/>		
25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>	全くできていないわけではないが、就学や転園について、教育委員会や地域との連携がもっとされるべきだと感じる 支援計画とともに、本児の得意、好きなことや有効な手立てを伝えてきた。重心児では写真も添えた姿勢も伝えた。	23の設問同様に地域連携を密に図っていきます。
26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>	大まかな全体の学校説明会等は参加しているが個別対応をもっと学校、教育委員会、区とやっていったほうがよいと考える。 どの程度なされているか、入社後卒園児が出ていないので不明 園長が来年度の卒園に向けて要録の作成を進めている。	23の設問同様に地域連携を密に図っていきます。
27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>		
		今年度はコロナで見合わせたため コロナ禍の中で交流は現在できない。	コロナ禍の影響で近隣の児童施設(保育園等)との交流は見合わせていました。今後は、自治体と情報をもとに検討を進めて行く予定です。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者

との連携	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>	<p>コロナ禍のため接触機会持てず</p> <p>コロナの影響もあり交流はしにくい</p> <p>コロナ禍のため計画が途絶えた</p>	
	29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>	<p>わからない</p> <p>不明</p>	
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>	<p>登園、降園の際、保護者と話す機会があるため、児のできたこと、成長した点等伝えている。</p> <p>バスでの送迎が毎日ある子どもや祖父母が送迎の家庭は日頃から共有するものが連絡帳のみなので難しい部分もある。</p> <p>連絡帳、送迎での連絡で伝え合っている。</p>	
	31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>	<p>昨年度、ペアトレの研修を修了できなかった。</p>	
保護者への説明責任等	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>	<p>保護者面談の時、支援計画の内容を説明し、同意を得ている。</p>	
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>	<p>日々、保護者と話す中で助言や支援を行っている。</p> <p>全ての思いに適切に応えていると、自信を持って言い切れない。応え切れていないという真摯な姿勢でいたい。</p>	
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>	<p>コロナの影響もあり保護者同士の交流はできていない。</p> <p>この一年はコロナ禍でできていない。</p> <p>今年はコロナがあり保護者交流会は開催できなかった</p> <p>保護者の会を立ち上げる時期がきていると思う。</p>	<p>コロナ禍の影響で保護者会や参観等の交流行事は見合わせていました。今後は、情勢を確認しながら安全に配慮した形で検討を進めて行く予定です。</p>
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>	<p>保護者からの投げかけに対してもっとスピード感のある対応が必要。全てを園長に任せるのではなく、対応できるよう保育スタッフのスキルアップが必要。</p> <p>相談や申し入れは、園長や児発管に伝え対応している。</p> <p>相談の段階で適切迅速な対応をしないと不安と不満につながってしまう。クレームになり、互いに不要なトラブルが起こる。フローレンスの結論ありきでなく、保護者の言葉の裏にあるものを想像した寄り添いをしてほしい。</p>	<p>管理者だけでなく、スタッフ一人一人が適切な対応が出来るように、園として研修等の制度を取り入れていきます。本部への報告とともに園内でも共有し、全スタッフが同じ対応が出来るように努めています。</p>
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>	<p>月に一度配布している。</p>	
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>	<p>園を出てから話さない。</p>	
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>	<p>配慮して話している。</p> <p>フローレンスの社会への主張は決して間違っているのではない、社会を変えたいビジョンには共感する。しかし、NICUを経験した両親の心情とそれとは必ずしもマッチしていないように感じる。障害児という言葉が辛かったり医ケアが外れて尚障害児枠に該当されたり、、、受容できない親が悪いと責めるのではなく、思いに伴走する姿勢や懐の大きさが大切なのではないかと。親は子どもとヘレンとだけ向き合っているだけでなく、親戚友人近所職場医療との関わりの中でいつも円満であるとは限らない。</p>	<p>園児への配慮と共に、ご家族の思いや辛い経験に寄り添い、安心して過ごせる場所を提供できるような園運営に努めています。</p>
40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>	<p>コロナ禍でできていない。</p>	<p>コロナ禍の影響により、外部の方の行事への参加や見学等は中止しています。次年度以降については、コロナの状況を見ながら検討していきます。</p>	
41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>	<p>訓練をしているが定期的ではない。</p>		
非常時等の対応	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>	<p>定期的ではないので定期的にする時間を設ける必要がある。。</p> <p>今年は避難訓練を安全に執り行う。</p>	
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>	<p>確認している。</p>	
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>	<p>指示書確認して、おやつ配布の際ダブルチェックを行っている。</p>	
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>	<p>共有を行動の改善につなげ、同じ事故を防ぐようにしたい。</p> <p>まだ虐待防止の研修には行ってない。</p>	
	47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>	<p>個別支援計画面談で保護者に説明し、了承を得て行っている。</p>	